

# たてはく

## 展示館2階「立山信仰の世界」をリニューアルして1年!

ココが  
見どころ!

立山博物館は文化庁の認定を受け「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」に取り組んでおり、令和6年度には展示館2階の常設展示「立山信仰の世界」のパネルを増やしたり、タッチパネルモニターを3基新設したりしました。特に、パネル内容には開館して35周年を迎えようとしている当館の研究成果も盛り込んでいます。

そこで、まだご覧になっていない皆様にも、改めて2階の見どころを紹介したいと思います。



### ○「立山開山伝説」をわかりやすく!

岩峯寺延命院に伝わる『立山手引草』をもとに制作した、紙芝居風に開山伝説が読めるモニターを新設。日本語と英語の音声でも聞けます。



玉殿窟にあらわれる阿弥陀如来様! お会いするのに最適な場所に印を設置。

立山開山伝説にまつわる場所がわかる地図も設置しました。ぜひ気になる地へ!



### ○「立山地獄」は怖い雰囲気です...

タッチパネルモニターでは、「説話でみる立山地獄」「芦峯寺の閻魔堂」「立山と帝釈天」の3つの項目を紹介!

国指定重要文化財の銅造帝釈天立像の身体に刻まれた文字や3D画像で背面や頭部なども見ることができちゃう!?



### ○「立山登拝」に関する資料をギュギュッと!



資料の展示スペースが少ない「立山登拝」コーナーにもタッチパネルモニターを設置!

これまでなかなか紹介することができなかった禅定登拝者の服装や持ち物、宿坊での接待、立山登拝しての感想(道中記)などをギュギュッと詰め込んで紹介しています。

### ○明治期以降のパネルは内容を刷新!

明治初年の神仏判然令の影響で、ガラッと変わった立山信仰。「明治以降急速に衰退した」とされてきましたが、研究成果を生かし、「新しい時代の立山」に変更!



“信仰の山から観光の山へ”ということで…。「立山黒部アルペンルートの開通」のパネルも新設!

○展示館3階の刷新は、令和7年度事業として実施中。4月には内容が一新されたパネルや新しいタッチパネルモニターを設置します。お楽しみに!

## 目次

展示館2階「立山信仰の世界」をリニューアルして1年!	1
開館35周年・前期特別企画展「立山地獄めぐり」	2
開館35周年・後期特別企画展「立山黒部を貫く!—電源開発と観光—」	2
ミニ出張展示「日本三霊山—立山・白山・富士山を巡る—」	2
学芸課発 立博雑学 第20回『夏風に舞う、その後で—立山に生きる高山蝶の秘密—』	3
出前講座&団体見学、随時受け付けています!	3
令和8年度の催し物案内	4
令和8年度「たてはく友の会」会員大募集!	4
立山博物館ボランティアを随時募集中です!	4
編集後記	4





## 令和8年度 特別企画展のご案内

開館35周年・前期特別企画展

### 立山地獄めぐり

会期：7月18日(土)～9月6日(日)

観覧者には  
もちろん「えんま帳」を  
プレゼント！

平安時代の『今昔物語集』には「日本国の人 罪をつくりて 多くこの立山の地獄におつ」と書かれています。地獄谷を代表とする非日常的な景観から、立山は仏教の経典に示される地獄が「この世に実在する場」として都の人びとに認識されていたのです。

地獄のある山として霊山立山の名は広まり、さらには日本人の地獄思想の形成にも大きな影響を与えてきました。そして「立山地獄」の世界は、やがて多様な精神文化と結びつき、江戸時代には「立山曼荼羅」という絵画のなかに集約され、立山衆徒の絵解きによる布教で立山信仰が日本各地に広まっていったのです。

地獄とは一体どのような世界なのでしょう。本特別企画展では、日本の地獄絵である「六道絵」や「十王図」などの資料とともに、立山信仰の原点である、立山地獄のすべてを分かりやすく紹介します。

立山曼荼羅に描かれた立山地獄の世界をめぐりながら、人びとは何をおそれ、何にあこがれてきたのかを考えてみましょう。(高野靖彦)



「立山曼荼羅」大仙坊A本(部分、大仙坊蔵)

【担当学芸員展示解説会】

7月18日(土)  
8月11日(火・祝)  
8月29日(土)  
いずれも14:00～15:00

【子ども向け地獄セミナー】

■ようこそ、地獄の世界へ！  
地獄博士と一緒に絵本やクイズで  
地獄の世界を学びます。

◆開催日：8月2日(日)  
◆時間：13:30～15:00  
◆場所：教算坊、企画展示室  
◆対象：小学生(保護者同伴)  
◆定員：15名 ※要事前申込、参加無料

開館35周年・後期特別企画展

### 立山黒部を貫く！—電源開発と観光—

会期：9月19日(土)～11月8日(日)

観覧者にはもちろん  
「乗り物クリアファイル」を  
プレゼント！

富山県が誇る絶景ルート「立山黒部アルペンルート」と、渓谷美を楽しめる「黒部峡谷鉄道」。全国から観光客が訪れる名所ですが、実は最初から観光地だったわけではありません。その華やかな姿の裏には、黒部川の電源開発という大事業と、険しい自然に挑んだ人々の長い年月があります。立山黒部アルペンルート全線開通55周年、黒部峡谷鉄道設立55周年を迎える今年、本展示では「観光地・立山黒部」がどのように誕生したのかを、黒部川の電源開発や黒部ダム建設、立山黒部アルペンルート全線開通などの視点からたどります。当時の観光案内や地図、貴重な映像や写真資料、模型などを使って、山岳地帯がどのように「人が訪れる場所」へと変わっていったのか、その過程をわかりやすく紹介します。

さらに、黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放にも注目します。知っているつもりの立山黒部に、もう一段深く踏み込む—そんな知的好奇心を刺激する展示です。自然×人の力が生んだ、ワクワクする立山黒部の魅力を味わってみませんか。(森山義和)



【子ども向け鉄道イベント】

【担当学芸員展示解説会】

9月19日(土)  
9月23日(水・祝)  
10月3日(土)  
11月3日(火・祝)  
いずれも14:00～15:00

■ドクターイエローに乗ろう！  
ミニ列車が走ります。乗ることもできます。  
◆開催日：10月10日(土)  
◆時間：10:00～15:00  
(12:00より30分間は休憩)  
◆場所：芦峯公民館前 駐車場  
※申込不要、後期企画展をご覧になった方

■Nゲージ走行観覧会  
Nゲージ鉄道模型が走る様子をご覧ください。  
◆開催日：10月24日(土)、25日(日)  
◆時間：10:00～15:00  
◆場所：教算坊  
※申込不要、参加無料

ミニ出張展示

### 「日本三霊山—立山・白山・富士山を巡る—」



令和5年度から静岡県・石川県とともに実施してきた三霊山連携事業の一環として、「日本三霊山」とも呼ばれる立山・白山・富士山それぞれの信仰や、三山を巡る「三禪定」などを紹介するパネル展を開催します。

- ◆会期：①5月2日(土)～5月29日(金)  
②令和9年2月1日(月)～2月28日(日)
- ◆場所：①富山県教育文化会館(富山市舟橋北町7-1) 画廊喫茶ルーエ  
②新川文化ホール(魚津市宮津110) 2階ミラージュギャラリー  
※ともに入場無料
- ◆時間：①平日9:00～17:00、土・日・祝10:00～16:00  
②新川文化ホールは開館時間中
- ◆休館日：富山県教育文化会館・新川文化ホールの休館日に同じ





学芸課発

## 立山雑学



学芸課によるリレー形式のコラムです。立山や立博<sup>ふんちく</sup>についての蘊蓄や魅力を、雑学としてお伝えします。

## 第20回『夏風に舞う、その後で—立山に生きる高山蝶の秘密—』

短い夏のあいだ、立山を歩いていると、ふとした瞬間に、ひらりと舞う蝶の姿に出会うことがあります。澄んだ空気の中を、風に乗るように飛ぶその姿は、どこかはかなさを感じさせます。

こうした蝶の中には、「高山蝶」と呼ばれる仲間が含まれています。森林限界付近の冷涼で厳しい環境に適応した蝶たちで、室堂や弥陀ヶ原周辺など、標高の高い場所で、しかも限られた時期にしか見ることができません。登山道を歩いても、いつでも見られるわけではなく、天候や気温などの条件がそろったときに、ふと姿を現します。立山ではタカネヒカゲやベニヒカゲ、ミヤマモンキチョウなどを見ることが出来ます。また、高山蝶の一種であるクモマツマキチョウが日本で初めて発見された場所でもあります。

高山蝶の暮らしは、とても忙しく、そして短いものです。多くの種は、夏のわずかな期間に成虫となり、花を訪れ、次の世代へ命をつなぐと、その役目を終えます。一年のうち、自由に飛び回れる時間はほんのわずか。それでも確実に繁殖を終えるという生き方は、高山という環境ならではの戦略だと考えられています。

蝶を含む昆虫は、温度や食草となる植物の状態など、いくつもの条件がそろってはじめて生きていくことができます。特に高山蝶は、特定の気候や地形、植生に強く依存しているため、暮らせる場所がごく限られています。その分、周囲の環境が少し変わるだけでも、大きな影響を受けやすい存在でもあります。

立山の高山蝶については、博物館による記録や観察が行われてから、すでに長い時間が経っています。その後も山の様子を見続ける中で、近年では、蝶の姿を見かける時期が年によって読みづらくなっていると感じられることが、わずかながら出てきました。現時点では、大きな変化として断定できるものではありませんが、こうした小さな違和感を積み重ねていくことが、これからの自然を考えるうえで大切なのかもしれません。

立山で蝶を見かけたとき、その美しい姿の奥には、果てしなく長い時間の積み重ねと、厳しい環境に適応してきた生きものの営みがあります。夏風に舞う一頭の蝶は、ただ目を楽しませてくれる存在であると同時に、この山の自然の今と、そしてこれからの静かに映し出しているののかもしれません。高山蝶の姿を、これからも静かに見守っていくことが、私たちにできる大切な関わり方なのでしょう。

(上利理峰)



①タカネヒカゲ成虫



②ベニヒカゲとコヒョウモン成虫



③イワハタザオで吸蜜するクモマツマキチョウ成虫

## 出前講座&amp;団体見学、随時受け付けています！

学芸員が各地の学校へ伺い、立山のお話をする出前講座を行います。授業に合わせた時間設定、ランチルームや体育館などでの大人数授業など、事前に打ち合わせてご希望の内容を準備します。

毎年、ビニール立山曼荼羅とパワーポイントを持っていき、小学校では立山登山の事前学習、高校では郷土学習などでお話しています。県外から修学旅行で立山へ来られた学校には、宿泊場所へ伺い、夕食後に立山のお話をする講座も可能です。

遠足や校外学習でのご来館もお待ちしています。滞在時間に合わせて各施設の見学日程のご提案や展示解説も行います。立山登山を計画され、当日登山中止の時のみの来館予約も大丈夫(当日朝のキャンセルOK)です。お気軽にお問合せください！

(吉野俊哉)





# 令和8年度の催し物案内

令和8年度も  
楽しいイベントが満載!!

●各行事の詳細は、開催日前に博物館ホームページやSNSなどでお知らせします。ご不明なことがあれば、メールや電話でお問い合わせください。

### 利用案内

- ◆休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日  
年未年始(12月29日~1月3日)
- ◆臨時開館日 4月30日(木)、8月12日(水)、9月24日(木)、11月2日(月)
- ◆臨時休館日 7月16日(木)、7月17日(金)、9月17日(木)、9月18日(金)  
12月26日(土)、12月27日(日)

### ◆立博アカデミー

立山に関する研究の成果が聴ける講座を開催します。  
開催日:①5月24日(日)、②7月5日(日)  
③10月4日(日)  
時間:①・②・③とも13:30~14:30  
会場:芦峯公民館  
定員:各日40名  
聴講料:無料 ※申込不要、先着順  
◎講師や演題など、詳細は開催1ヶ月前にHPやSNSでお知らせします。



### ◆まんだら遊苑ガイドツアー

学芸員の解説付きでまんだら遊苑を巡ります。  
開催日:①5月30日(土)、②6月20日(土)  
③9月5日(土)  
時間:①・②・③とも10:30~11:45  
集合場所:まんだら遊苑 地界入口  
参加料:まんだら遊苑観覧料  
定員:各日20名 ※申込不要、先着順



### ◆たてはく探検隊

立山の自然や歴史、文化について親子で楽しく学びます。  
開催日:①7月20日(月・祝) ②8月23日(日)  
時間:①・②とも9:30~12:00  
場所:展示館、教算坊、閻魔堂ほか  
対象:小学生(保護者同伴)  
定員:①・②とも各日25名 ※要事前申込  
参加無料、小雨決行  
◎申込方法や探検場所など、詳細は6月中旬にHPやSNS、チラシなどでお知らせします。



### ◆山の日イベント・ミュージアム de ナイト in 芦峯寺

「地獄博物館」に変身させ、普段と違った演出で夜間開館します。  
開催日:8月8日(土)・9日(日)  
時間:18:00~21:00(入館は20:30まで)  
会場:展示館、教算坊、山岳集古未来館  
観覧料:常設展+企画展観覧料  
※高校生以下は無料



### ◆文化講演会

「黒部川電源開発と立山黒部アルペンルート開発の歴史」  
講師:河田 稔氏(富山近代史研究会理事)  
高木 晴秀氏(元立山研修会館事務局長)  
開催日:10月17日(土)  
時間:13:30~16:00 ※講師1人50分を予定  
場所:立山町元気交流ステーションみらいふ  
定員:70名  
聴講料:無料 ※申込不要、先着順

## 令和8年度「たてはく友の会」会員大募集!

立山についての理解を深めたい方や立山博物館事業に積極的に参加して下さる方、ぜひご入会ください!心よりお待ちしております。

- ◎特典 ①有料施設の観覧が無料/②特別企画展の観覧が無料/③博物館行事のご案内/④博物館交流誌「たてはく」(年4回発行)と「研究紀要」(年1回)の郵送/⑤図録ほか、博物館オリジナルグッズの20%割引(一部を除く)
- ⑥友の会主催行事(バスツアーなど)への参加(一部、実費負担あり)

- ◎会費(年額) 一般会員 3,000円  
賛助会員(企業・団体等)20,000円 [一口]

- ◎期間 入会日から入会年度の3月31日まで
- ◎入会方法 当館受付窓口にて直接申込、または「たてはく友の会事務局」(TEL076-481-1216)まで入会申込書をご請求のうえ、郵便局で会費をお振り込みください。



友の会バスツアー  
(上越市立歴史博物館)

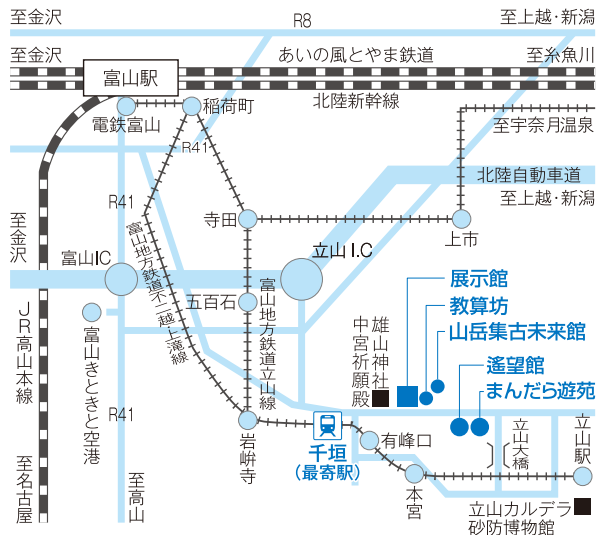
## 立山博物館ボランティアを 随時募集中です!

立山博物館ではボランティアを随時募集しています。現在約50名の方にご登録いただき、それぞれの都合にあわせて、芦峯寺集落やまんだら遊苑の解説、各種イベント補助でご協力いただいております。教養講座や先輩ボランティアの解説を聞く機会もあり、初めての方でも少しずつ立山信仰についての知識を深めていくことができます。また月1回発行のボランティア通信(4月から11月)で最新のイベント情報も知ることができます。博物館のイベントに興味がある方、立山信仰について学びたい方はお気軽にお問い合わせください。(河野史明)

### 編集後記

令和8年度は、立山博物館開館35周年!「ちょっと前に30周年記念式典したよな…」としみじみ思うくらい、1年が本当に早く感じます(泣)。やりたいことと、チャレンジしたいことがあっても、身体も心もおぼつかない日々ですが、来年度も楽しいことが出来るように頑張ります!!(H)

### 案内図



- 最寄り駅 富山地方鉄道立山線千垣駅下車  
徒歩約30分(約2km)  
※日曜・祝日を除き町営バス運行  
「雄山神社前」下車すぐ
- 自家用車で  
JR富山駅から 約45分  
立山駅(千寿ヶ原)から 約15分  
富山インターチェンジから 約35分  
立山インターチェンジから 約30分

立山博物館のHPはこちらから



人間と自然のかかわり方を学ぶ

## 富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1  
TEL 076-481-1216 FAX 076-481-1144

でも情報発信中 立山博物館